

アルメニア共和国  
母子病院医療機材改善計画  
予備調査報告書

平成 12 年 12 月

国際協力事業団

## 序 文

日本国政府はアルメニア共和国の要請に基づき、同国の母子病院医療機材改善計画にかかる予備調査を行なうことを決定し、国際協力事業団がインテムコンサルティング株式会社および光電メディカル株式会社との契約により実施いたしました。

当事業団は、平成12年10月24日から11月11日まで予備調査団を現地に派遣いたしました。この報告書が、今後予定されている基本設計調査の実施、その他関係者の参考として活用されれば幸いです。

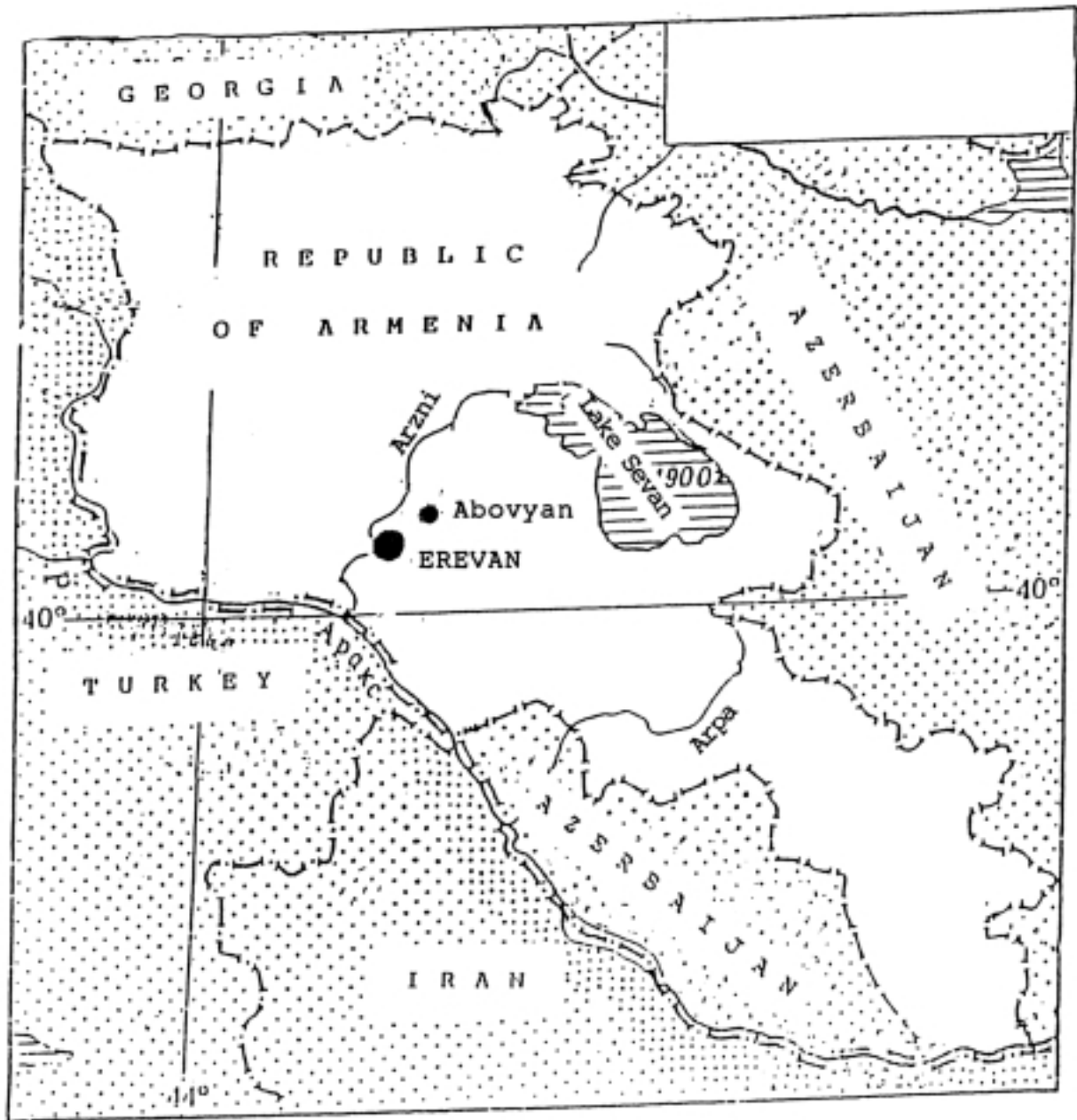
終わりに、調査にご協力とご支援いただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成12年12月

国際協力事業団  
理事 目崎 八郎

位置図

MAP OF THE REPUBLIC OF ARMENIA





小児救急病院正門  
(白衣の人物は院長のDr.)



小児感染症病院  
X線検査室 人物は放射線技師  
手前のX線装置を使用中、  
奥の透視装置は使用不可



小児感染症病院  
ランドリー室、3台の洗濯機は  
1台のみ使用可

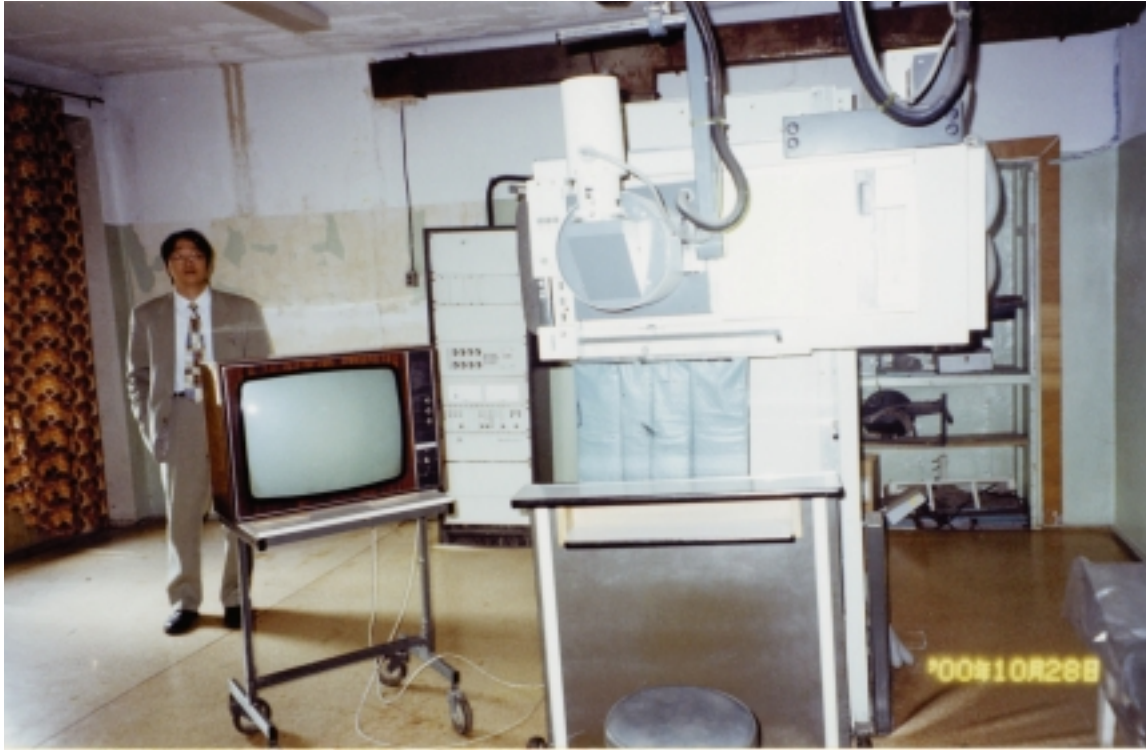




小児神経科第6病院  
リハビリ室、遊具を含むリハビリテーション  
用の機材が設備されている



共和国結核診療所  
手術室、必要とされる機材が少ない



共和国結核診療所  
X線検査室、性能的に問題のある透視用装置

## 略 語 集

AIDS	<b>後天性免疫不全症候群</b> Acquired Immunodeficiency Syndrome
BBP	<b>基本利益パッケージ</b> Basic Benefit Package
BCG	<b>結核予防ワクチン</b> Bacille de Calmette-Guerin
DOTS	<b>短期直接的観察治療</b> Direct Observation Treatment for Short Term
DPT	<b>三種混合（ジフテリア、百日咳、破傷風）</b> Diphtheria, Pertussis, and Tetanus
EPI	<b>予防接種拡大プログラム</b> Expanded Program on Immunization
GDP	<b>国内総生産</b> Gross Domestic Product
HIV	<b>ヒト免疫不全ウイルス</b> Human Immuno Deficiency Virus
ICRC	<b>国際赤十字</b> International Committee of the Red Cross
MOH	<b>保健省</b> Ministry of Health
MRI	<b>磁気共鳴映像</b> Magnetic Resonance Imaging



MSA	<b>社会事業省</b> Minster of Social Affairs
NGO	<b>非政府組織</b> Non-governmental Organization
NIH	<b>国家医療保健機関</b> National Institute of Health
PHC	<b>プライマリー・ヘルス・ケア</b> Primary Health Care
RIP	<b>共和国予防接種プログラム</b> Republic Immunization Program
SHA	<b>国家保健庁</b> State Health Agency
STD	<b>性感染症</b> Sexually Transmitted Disease
TB	<b>結核</b> Tuberculosis
UNDP	<b>国連開発計画</b> United Nations Development Program
UNFPA	<b>国連人口基金</b> United Nations Family Planning Association
UNICEF	<b>国連児童基金</b> United Nations Children's Fund
USAID	<b>米国国際開発庁</b> United States Agency for International Development

WB

**世界銀行**

World Bank

WHO

**世界保健機關**

World Health Organization

# 目 次

序文  
位置図  
写真  
略語集

第 1 章 要請の背景 .....	1
第 2 章 保健医療セクターの概要 .....	2
2 1 保健医療指標 .....	2
2 2 保健医療制度 .....	9
2 3 本プロジェクトの上位計画 .....	21
2 4 他ドナーの援助実績・動向 .....	22
2 5 関連・参考医療機関視察結果 .....	24
2 6 対象病院の保健医療セクターにおける位置付け .....	26
第 3 章 対象病院の状況 .....	27
3 1 小児救急病院 .....	27
3 2 小児感染症病院 .....	33
3 3 小児神経科第六病院 .....	38
3 4 共和国結核診療所 .....	44
第 4 章 無償資金協力実施における協力範囲・規模等 .....	51
4 1 主要機材の数量、稼動状況 .....	51
4 2 医療スタッフの技術レベル .....	52
4 3 要請機材の変更等 .....	53
4 4 要請機材の設置場所と先方負担工事 .....	54
4 5 機材計画と対象病院の機能の整合性 .....	55
4 6 その他 .....	56
第 5 章 総括 .....	57
5 1 まとめ .....	57
5 2 実施にあたっての留意事項 .....	59
5 3 その他 .....	60

(資料)

調査団構成 .....	63
調査行程 .....	64
面談者リスト .....	67
ミニッツ .....	69
要請機材リスト .....	75
保健省 / 病院組織図 .....	86
現地代理店の状況 .....	91

## 第1章 要請の背景

アルメニア共和国はコーカサス山脈に囲まれた内陸部に位置する旧ソ連邦の中で最小の国であり、1991年9月に旧ソ連邦から独立したが、その後の経済的な混乱に加え、1988年のスピタク地震や隣国アゼルバイジャンとの紛争等の影響により、同国の経済事情は低迷している。

このような経済事情を受け、同国の保健医療セクターにおける財政状況は厳しく、各病院の医療機材は更新されず老朽化する一方であり、また医療消耗品も各国際機関、慈善団体からの援助等により賄われている。かかる状況の下、同国政府は保健医療セクターの近代化を図るための改革プログラムを推進しており、地方分権化、リファーマル体制の整備、医療保険制度の導入等を進めている。また1996年に母親と子供の保護に関する大統領令が出され、母子保健サービスの改善を進めている。

無償資金協力の要請のあった小児感染症病院他3病院はいずれも同国の小児医療の中心を担っているものの、医療機材の更新が十分に行われておらず、その機能を十分に果たせない状況にある。このため同国政府は医療機材調達のために必要な資金につき、我が国に対し、無償資金協力を要請した。

本予備調査は、同国の保健医療サービスの現状と課題および現在推進中の保健医療セクター改革プログラムと照らし合わせ、本件を無償資金協力として実施することが妥当かどうか検討することを目的として実施された。

### <我が国への要請内容>

- 対象病院           : 小児感染症病院、小児救急病院、小児神経科第6病院、  
                          共和国結核診療所
- 医療機材の調達   : 超音波診断装置、X線検査装置、生化学分析装置、保育器、  
                          蒸気滅菌器等
- 対象地域           : アボヴィアン市（結核診療所）、エレヴァン市（他3病院）